

2020年 日本RC模型グライダー協会(JRGA)理事会 議事録

日 時：2020年2月2日(日) 13:00～16:00

場 所：東京都港区新橋1-18-1 航空会館 B102 会議室

参加者：櫻井理事長(愛知) 藤田(岩手) 濱田(群馬) 宮川、山田(埼玉)
関根(東京) 児山、市村(神奈川) 青木(静岡) 森尾(奈良) 浅野(大阪)
星島(兵庫) 柳本(兵庫) 篠原(香川) 計14名

議事

1. 会長挨拶：櫻井理事長

会長が欠席のため、櫻井理事長から以下の挨拶があった。

昨年は台風による大きな被害がありました。競技会開催場所の問題等、今年も影響が残っていますが皆で協力しながらやっていきたい。

2. 理事会開会宣言：櫻井理事長

理事総数18名中、出席14名、委任状提出3名。

過半数の理事出席により理事会が成立していることを宣言。

3. 書記の選任：櫻井理事長が篠原理事を指名し承認された。

4. 会員登録状況報告：篠原理事

2020年2月1日時点の有効会員数は133名。昨年は6名の新規入会者があったが、

2017年度以降会費未納の会員9名を休会扱いとした為、トータル3名の減。

現在51名の方が2018年までの会費納入なので、来年度大幅に減員となる可能性がある。

5. 決算報告：濱田理事、星島監事

濱田理事より会計報告がなされた。

主な内訳の説明

収 入：2,400,686円

支 出： 313,862円

繰 越：2,086,824円

昨年は天候の影響で中止となった競技会が多く、メダルの追加作成が無かったので繰越額が増えている。メダル在庫は少ないので来年度は作成することになる予定。

賛助会費の30,000円はどこからの会費か。(児山理事)

ラジコン模型工業会から頂いている。(濱田理事)

星島監事より監査の結果相違がないことが報告され、承認された。

6. 競技会スケジュール調整および状況報告：宮川理事

・去年はF3B日本選手権が直前になり日程変更となった。参加者、他の競技会との関係もあり予備を取るなら先に決めておいた方が良い。(市村理事)

選手権は開催方針を先に決めておいた方が良いと思える。(篠原理事)

F3Kは雨でもその日程は変えず、実施できたラウンドのみで成立させている。(山田理事)

グライダー委員会で主催する日本選手権（F3B,F3J,F3K）は決定した日程は変更せず、天候他で実施できなかった時は中止とする。（JMA グライダー委員）

（注）今回出席の JRGA 理事 14 名中 7 名は JMA グライダー委員を兼務

- ・ 8月に玄岳スロープを予定しているが、その前後で修善寺がオリンピックとパラリンピックの会場となっており、宿、交通が少し心配。また、立地条件から千葉の東京湾観音で F3F の開催を検討している。（市村理事）
- ・ 四国は例年の F3B 予選の日程で西日本 F3B を計画している。また、上里で秋に実施していた JMA の F5J 大会を徳島で開催する。それ以外は例年通りの内容。ただし、グラウンドの利用抽選会が3月初旬なので日程の最終確定はその後となる。（篠原理事）
- ・ KMA では昨年の延期含めて6回の競技会を予定している。（森尾理事）
- ・ F3K は上里カップを野田に変更して申請中。選手権も野田で申請している。（関根理事）
- ・ Asia Pacific Open の開催地候補にしている野田スポーツ公園の申請状況他説明。（関根理事）
野田スポーツ公園での会場レイアウト他説明。（山田理事、児山理事）
- ・ 東北はスロープ会場近くの風力発電が稼働したため今年の競技会予定はなし。（藤田理事）

7. 各理事からの提案、報告

（1）F3KContest Japan Tour の開催提案：関根理事

日本全国の大会を連携してコンテストツアーにすることで、パイロットのレベルアップと参加者の増加を狙う。また、大会運営ノウハウをクラブ間で共有すれば運営クラブの負担も削減できる。昨年はトライアルとして6大会で計画し、5大会が成立した。ツアーの成績は各選手上位4大会の合計成績で算出した。課題はツアー途中の成績を公表する場がないこととトロフィー代の協賛。

- ・ JMA の競技会補助金を、ツアー全体を1大会と見なして出すことは可能。（児山理事）
- ・ JRGA で公認とは何を求めていますか。（浅野理事）

JRGA の HP に途中成績をアップしてくれればありがたい。（関根理事）

表示するだけなら可能かもしれない。関根理事も HP の更新ができるよう手順等を別途連絡する。（浅野理事）

（2）赤穂グラウンドの利用について：柳本理事

過去に赤穂グライダークラブとして利用していた場所で、現在は赤穂市のグラウンドになっている場所が利用できるようになった。市との協議で使用料も無料にして頂けた。2月のクラブ総会にて審議し、今年中に何らかの練習大会を実施し環境を確認した上で来年からは定期的な競技会を開催していく予定。

（3）今年度の F3B 日本選手権予選について：児山理事（JMA グライダー委員長）

今年は場所の問題もあり、予選は実施しない。シードは関係なく申込者全員で実施予定。来年度の予選については今年の参加実績で検討する予定。

（4）RES 機について：浅野理事

話題となっている RES 機のルール概要を紹介。

国内用の統一ルールを JRGA で作れないだろうか。（市村理事）

後日 JRGA HP に規則の和訳版を掲載。

材料の入手手段等も HP または会報等で共有できれば良い。(関根理事、山田理事)

(5) 会員からの JRGA への要望について：浅野理事

滑空記章プログラムの推進 (記録者の HP 掲載、記録会開催等) と RC グライダー
カレンダーの作成に関する提案があり協議したい。

多数の意見が出され、下記にて進めていくこととなった。

カレンダーは需要、写真ソースの問題で実現が難しい。

滑空記章のルールは現状に合わせて改訂すべき。

篠原理事が素案を作成し理事会メールで意見集約。次回理事会までに整理する。

滑空記章の周知については、認定可能な競技会において主催者が意識して参加
者に説明することも手段として検討する。

(6) JRGA 会報の原稿に関して：浅野理事

競技会ネタに偏っているので記事の作成、収集を手伝ってほしい。

関根理事が協力することとなった。

会報への広告掲載も考えたい。A4 フルカラー 1 ページが 1 万円程度で掲載募集可能。

(7) 2 月 1 日の JMA 理事会報告：児山理事 (JMA グライダー委員長)

・正会員 270 名 準会員 6200 名で構成されているが、減少傾向。

グライダー委員については現在 22 名で 1 名 (大能氏) が退任予定。JRGA 理事会が JMA
グライダー委員を兼ねることにも可能だが、日本選手権の競技委員長、競技副
委員長、陪審員、の 3 名は JMA 正会員である必要がある。

・2020 年の F3B、F3K ルール改正は航空連盟 HP にアップしているので確認してほしい。

・航空法の申請で様式が変更になっており最新版のひな型を航空連盟 HP に上げている。

・ドローンで自動操縦や VRF 飛行を行うものは模型飛行機と前提が異なるため一緒に
申請ができない。無人飛行機としての扱いで申請する必要がある (詳細は国交省で
調整中)。また、違反に対して警察で取り締まり可能となった。

8 . 次年度理事会開催予定

2021 年 2 月 7 日 (日) 大阪開催の予定

以上